

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	シャイン		公表日		令和8年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			適切である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			職員一人に対して、子どもを三人観れるスキルを身につけてもらうように努めている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		共有スペースなどイラストで分かりやすく共有されている 視覚的に分かりやすいようテープなどを貼り工夫している	イラストでわかりやすく視覚から入れるように努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			清潔で心地よく過ごせるようになっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		応接室を使用し対応している	社長室で対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			研修などを数多く行い対応している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			面談を随時行い対応している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々の出来事などノートやLINEで共有している ミーティング、報告書	毎日ミーティングの中で意見交換をしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		第三者との交流の機会を設けるように努めている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	もっと実践的な研修があれば良いと思う	社内研修は月に1回、社外研修は希望者に参加する機会を与えている。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			個別支援計画書に則り、療育を進めている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		アセスメントに基づき都度工夫して課題に取り組んでいる	その都度創意工夫をして課題に取り組んでいる。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		日頃から常に起きた出来事について話し合い情報を共有している	ミーティングの中で意見を言ってもらいながら作成している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			共有されている。計画に沿った支援が出来ている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		毎日連絡帳で報告している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		家族からの相談事があった場合などは都度対応している	保護者面談などで対応している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員で話し合いスケジュールを作成している	職員間で話し合いながら決定している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員で話し合いそれぞれの児童にあった課題支援を行っている	個別カリキュラムを決めて行っている。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			行われている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			ミーティングで決定している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	保護者からの連絡帳を確認し、共有している	申し送りノートを作り、共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日誌に活動や課題等具体的に記録している	申し送りノート・日報で対応している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			行われている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			行われている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		おもちゃ箱等に写真を貼り、児童が見やすい工夫をしている	子どもがやりたい事を自分で決定させて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			施設長や児発管を必ず出席させている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		整っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校や保護者と共有し作成している	学校・保護者・事業所が三位一体で連携を図っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		提供している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		今までそのような機会がなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	図書館や外出等を利用し交流している	図書館や公共施設に出向くように努めている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		今までそのような機会がなかった。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			連絡帳にその日の出来事と写真を送っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		今までそのような機会がなかった。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			契約時に必ず行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			保護者面談などで対応している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			保護者を交えて話し合い、承諾を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			保護者面談などで対応している。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	施設時間外でも対応している	保護者の集まる機会を作るように努めている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		その都度対応している 相談員とも連絡をとり対応している	担当責任者を決めて対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		Instagramを活用している	学期ごとに新聞を発行している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		SNS等では配慮している 鍵のある棚に保管している	保護者の同意を得て行っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			Lineグループなどを使い常に連絡が取れるようにしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		子ども食堂などの場所として施設を造る。提供している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		地震や水害などを想定し行っている	全ての訓練を実施している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			避難訓練を必ず行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		対応出来るよう職員間で共有している	契約時に確認している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			契約時に確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			安全管理は十分に行われている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			Lineグループなどを使い常に連絡が取れるようにしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		発生都度対応している	発生都度ヒヤリハットを提出し情報を共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		職員の研修会を行っている	月に一度社長研修や、社内研修を行い、防犯に努めている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	4	該当児童はいないが、個別支援計画書に身体拘束について明記し保護者に同意を頂いている	パートさんに個別支援計画書に記載している事を徹底して情報を共有する。	